

子育て環境と子どもに対する意識調査(草津市版)結果報告

濱田 智崇 (京都橘大学健康科学部)

I はじめに

筆者は、2006年度から甲南大学人間科学研究所の子育て研究班に加わり、子育て中の保護者の意識調査を継続してきた。保護者を対象とする調査研究が、「子育てで何をどれだけしているか」という子育ての現実的状况を尋ねるに留まり、「どのような思いで子育てをしているか」という心理面まで直接尋ねている調査は少ない中で、保護者の子育て意識を浮き彫りにする試みを続けている。また、子育て支援の分野において、これまで研究や実践の対象になってきたのは、ほとんどすべて母親(女性)のみであり、父親(男性)を対象としたものは見られないが、筆者は、2009年に実施した、就学前の子どもを持つ父親へのインタビュー調査を皮切りに、父親の意識調査も順次実施してきている。2010年に〔第2回〕子育て環境と子どもに対する意識調査-父親版-として、神戸市東灘区在住の300名余りを対象とする質問紙調査を行い、さらに2012年には、就学前の子どもを持つ父親へのインタビュー調査を行っている。

さらに、父親に対する子育て支援策として、子育てについて語り合うスタイルのプログラムの実施(子育てパパの語り場：大阪市立男女共同参画センター主催・2011年5月～2012年3月・全6回、パパの子育てカフェ：交流スペースeトコ主催・2011年10月～11月1回継続中、パパのこころ育てセミナー：大阪市立男女共同参画センター主催・2012年6月～12月・全6回)を実施すると共に、啓発パンフレット「育て！パパごころ」(甲南大学人間科学研究所・2012年9月)を発行している。こうした取り組みは、京都橘大学心理臨床センターにおける子育て支援事業「パパとママのこころ育て広場」(2013年度から年8回実施・継続中)にも引き継がれている。

今回の調査研究は、これらの実績に基づいて、さらに大規模な調査を行い、保護者の子育て意識を子育て支援策に生かすことを目的としている。同一内容の質問紙を、父親と母親に同時に配布・回収している点や母集団の大きい点が、これまでの調査にはなかった大きな特徴である。京都橘大学は、2014年12月に滋賀県草津市との包括協定を結び、これに基づいて、保育所の保育士や幼稚園教諭のコンサルテーション等、子育て支援事業にも連携しながら取り組んでいる。今回の調査もその一環として、草津未来研究所との連携により、2015年度草津市社会実験推進事業として実施されたものである。本稿では、この調査結果から、父親と母親の比較を中心とした、結果全般について報告する。

II 方法

< 1 > 調査対象

草津市内の幼稚園・公立保育所・認可保育園(48園)にお子さんを通園させている保護者。

< 2 > 質問紙の配布と回収

全10ページからなる質問紙を、幼児課から園を通じて直接手渡しで配布し、園へ保護者各自で(個人ごとに封筒に入れ)提出していただいた上、幼児課が回収した。2086世帯(対象全世帯の53.7%・父親1356名、母親2075名)から回答を得た。

< 3 > 調査時期

2015年9月から10月。

< 4 > 質問紙の主な内容

- ①基本情報
- ②子どもと一緒に何をどのくらいしているか(頻度)と自分から進んでしているか(気持ち)
- ③子育てに関する気持ちや考え方
- ④父親の役割と母親の役割について

⑤子育ての情報と支援について

Ⅲ 結果と考察

<1> 調査協力者の基本情報

調査協力者のうち、父親の平均年齢は37.9歳(SD=5.33)、母親の平均年齢は36.2歳(SD=4.64)であった。父親の99.6%、母親の58.9%が仕事についている。

<2> 子どもとの関わりのようす

1) 子どもと関わる時間の実際と理想

平日に母親と子どもが関わる時間の実際と理想、

休日に母親が子どもと関わる時間の実際と理想、平日に父親が子どもと関わる時間の実際と理想、休日に父親が子どもと関わる時間の実際と理想について、0分、1～15分未満、15分～30分未満、30分～1時間未満、1時間～2時間未満、2時間～3時間未満、3時間～4時間未満、4時間～5時間未満、5時間～10時間未満、10時間～ほぼ1日の10段階で尋ねた。結果を表1-1～表1-8に示す。

母親は平日も休日も、ほぼ1日子どもと関わっている人は、もう少し子どもと関わる時間を減らしたいと思う傾向があることが示唆された。父親

表1-1 母親が子どもと関わる時間平日実際

	%	累積%
0分	0.1	0.1
1～15分未満	0	0.1
15分～30分未満	1.4	1.6
30分～1時間未満	3.5	5.1
1時間～2時間未満	6.4	11.5
2時間～3時間未満	9.4	20.9
3時間～4時間未満	12.9	33.8
4時間～5時間未満	16.7	50.6
5時間～10時間未満	32.0	82.6
10時間～ほぼ1日	15.9	98.5
欠損値	1.5	100

表1-2 母親が子どもと関わる時間平日理想

	%	累積%
0分	0	0
1～15分未満	0	0.1
15分～30分未満	0	0.1
30分～1時間未満	1.3	1.4
1時間～2時間未満	3.9	5.3
2時間～3時間未満	7.4	12.7
3時間～4時間未満	10.3	22.9
4時間～5時間未満	21.7	44.6
5時間～10時間未満	41.4	86.0
10時間～ほぼ1日	11.7	97.7
欠損値	2.3	100

表1-3 母親が子どもと関わる時間休日実際

	%	累積%
0分	0	0
1～15分未満	0.1	0.1
15分～30分未満	0.1	0.2
30分～1時間未満	0.8	1.1
1時間～2時間未満	1.8	2.9
2時間～3時間未満	2.4	5.3
3時間～4時間未満	2.2	7.5
4時間～5時間未満	3.1	10.7
5時間～10時間未満	10.3	21.0
10時間～ほぼ1日	76.9	97.9
欠損値	2.1	100

表1-4 母親が子どもと関わる時間休日理想

	%	累積%
0分	0	0
1～15分未満	0.1	0.1
15分～30分未満	0.1	0.1
30分～1時間未満	0.2	0.3
1時間～2時間未満	0.7	1.1
2時間～3時間未満	2.2	3.3
3時間～4時間未満	3.3	6.6
4時間～5時間未満	6.7	13.3
5時間～10時間未満	21.9	35.3
10時間～ほぼ1日	62.2	97.4
欠損値	2.6	100

表1-5 父親が子どもと関わる時間平日実際

	%	累積%
0分	3.5	3.5
1～15分未満	8.4	11.9
15分～30分未満	11.7	23.7
30分～1時間未満	22.1	45.8
1時間～2時間未満	26.3	72.1
2時間～3時間未満	14.3	86.4
3時間～4時間未満	8.1	94.5
4時間～5時間未満	3.5	97.9
5時間～10時間未満	1.1	99.0
10時間～ほぼ1日	0.2	99.3
欠損値	0.7	100

表1-6 父親が子どもと関わる時間平日理想

	%	累積%
0分	0.2	0.2
1～15分未満	0.2	0.4
15分～30分未満	0.7	1.1
30分～1時間未満	6.4	7.5
1時間～2時間未満	28.5	36.1
2時間～3時間未満	30.2	66.2
3時間～4時間未満	17.9	84.1
4時間～5時間未満	8.3	92.4
5時間～10時間未満	3.6	96.0
10時間～ほぼ1日	2.6	98.6
欠損値	1.4	100

表1-7 父親が子どもと関わる時間休日実際

	%	累積%
0分	0.1	0.2
1～15分未満	0.1	0.3
15分～30分未満	0.6	0.9
30分～1時間未満	1.0	1.8
1時間～2時間未満	4.3	6.1
2時間～3時間未満	5.5	11.7
3時間～4時間未満	7.1	18.7
4時間～5時間未満	8.6	27.4
5時間～10時間未満	20.5	47.9
10時間～ほぼ1日	50.8	98.7
欠損値	1.3	100

表1-8 父親が子どもと関わる時間休日理想

	%	累積%
0分	0.1	0.1
1～15分未満	0	0.1
15分～30分未満	0.2	0.4
30分～1時間未満	0.1	0.5
1時間～2時間未満	1.5	2.1
2時間～3時間未満	3.5	5.6
3時間～4時間未満	5.8	11.4
4時間～5時間未満	10.0	21.3
5時間～10時間未満	20.6	41.9
10時間～ほぼ1日	56.5	98.4
欠損値	1.6	100

は平日、45.8%の人が1時間未満、72.1%の人が2時間未満しか子どもと関わる時間を確保できていないが、62.5%の人が2時間以上子どもと関わりたいと答えており、もっと子どもと関わりたいと思っているのに、現実にはできていないことが示された。父親の休日に関しては、半数以上の人が、実際にはほぼ1日関わっていて、理想と近い形になっている。

2) 日常の状況とそれにつわる気持ち

家の仕事(家事)をする、子育てについて夫婦で話し合う、子育てについて知人と話をする、子ど

もと一緒に夕食をとる、子どもと一緒に風呂に入る、子どもの遊び相手になって一緒に遊ぶ、子どもを抱っこしたりスキンシップする、子どものオムツを換える(換えていた)、子どもを寝かしつける、の9項目について、実際にどのくらいしているか(頻度)とそれをする時の気持ち(感情)を尋ねた。頻度は、ほとんど毎日、週に3、4日、週に1、2日、ほとんどない、その他、から、感情は、自分からすすんでしている、すすんでではないがしている、できていないがしたいと思っている、したいとは思わない、その他、から選択してもらっている。結果を表2-1～表10-4に示す。

表2-1 母親・家事実際

	%	累積%
ほとんど毎日	96.1	96.1
週に3,4日	1.1	97.3
週に1,2日	1.1	98.3
ほとんどない	0.3	98.7
その他	0	98.7
欠損値	1.3	100

表2-2 母親・家事気持ち

	%
自分からすすんでしている	68.3
すすんでではないがしている	25.3
できていないがしたいと思っている	2.9
したいとは思わない	0.6
その他	0.4
欠損値	2.5

表2-3 父親・家事実際

	%	累積%
ほとんど毎日	28.2	28.2
週に3,4日	11.6	39.8
週に1,2日	27.4	67.2
ほとんどない	30.8	98.0
その他	0.7	98.7
欠損値	1.3	100

表2-4 父親・家事気持ち

	%
自分からすすんでしている	37.5
すすんでではないがしている	27.6
できていないがしたいと思っている	23.7
したいとは思わない	6.9
その他	1.0
欠損値	3.2

表3-1 母親・夫婦で話す実際

	%	累積%
ほとんど毎日	30.0	30.0
週に3,4日	22.0	52.0
週に1,2日	28.5	80.5
ほとんどない	14.5	95.0
その他	3.1	98.1
欠損値	1.9	100

表3-2 母親・夫婦で話す気持ち

	%
自分からすすんでしている	58.1
すすんでではないがしている	16.7
できていないがしたいと思っている	15.9
したいとは思わない	2.7
その他	2.8
欠損値	3.8

表3-3 父親・夫婦で話す実際

	%	累積%
ほとんど毎日	19.2	19.2
週に3,4日	23.2	42.3
週に1,2日	40.0	82.4
ほとんどない	15.3	97.6
その他	1.1	98.7
欠損値	1.3	100

表3-4 父親・夫婦で話す気持ち

	%
自分からすすんでしている	28.1
すすんでではないがしている	37.8
できていないがしたいと思っている	27.1
したいとは思わない	2.1
その他	2.0
欠損値	2.8

表 4-1 母親・知人と話す実際

	%	累積%
ほとんど毎日	16.1	16.1
週に3,4日	28.6	44.7
週に1,2日	37.8	82.6
ほとんどない	14.7	97.3
その他	2.4	99.7
欠損値	0.3	100

表 4-2 母親・知人と話す気持ち

	%
自分からすすんでしている	49.5
すすんでではないがしている	28.8
できていないがしたいと思っている	15.2
したいとは思わない	3.0
その他	1.7
欠損値	1.8

表 4-3 父親・知人と話す実際

	%	累積%
ほとんど毎日	1.8	1.8
週に3,4日	6.9	8.7
週に1,2日	28.9	37.6
ほとんどない	60.7	98.3
その他	1.3	99.6
欠損値	0.4	100

表 4-4 父親・知人と話す気持ち

	%
自分からすすんでしている	15.2
すすんでではないがしている	20.1
できていないがしたいと思っている	33.8
したいとは思わない	26.2
その他	2.8
欠損値	1.9

表 5-1 母親・子どもと夕食実際

	%	累積%
ほとんど毎日	91.3	91.3
週に3,4日	3.5	94.7
週に1,2日	2.7	97.5
ほとんどない	1.0	98.5
その他	0.3	98.8
欠損値	1.2	100

表 5-2 母親・子どもと夕食気持ち

	%
自分からすすんでしている	88.7
すすんでではないがしている	4.1
できていないがしたいと思っている	4.0
したいとは思わない	0
その他	0.5
欠損値	2.7

表 5-3 父親・子どもと夕食実際

	%	累積%
ほとんど毎日	20.6	20.6
週に3,4日	22.5	43.1
週に1,2日	49.3	92.5
ほとんどない	6.5	99.0
その他	0.5	99.5
欠損値	0.5	100

表 5-4 父親・子どもと夕食気持ち

	%
自分からすすんでしている	52.5
すすんでではないがしている	9.0
できていないがしたいと思っている	33.6
したいとは思わない	0.3
その他	1.2
欠損値	3.5

表6-1 母親・子どもとお風呂実際

	%	累積%
ほとんど毎日	69.9	69.9
週に3,4日	12.6	82.6
週に1,2日	9.2	91.7
ほとんどない	5.8	97.5
その他	1.3	98.8
欠損値	1.2	100

表6-2 母親・子どもとお風呂気持ち

	%
自分からすすんでしている	69.5
すすんでではないがしている	17.1
できていないがしたいと思っている	5.7
したいとは思わない	2.3
その他	2.7
欠損値	2.7

表6-3 父親・子どもとお風呂実際

	%	累積%
ほとんど毎日	19.3	19.3
週に3,4日	21.0	40.3
週に1,2日	48.3	88.6
ほとんどない	10.1	98.7
その他	0.7	99.5
欠損値	0.5	100

表6-4 父親・子どもとお風呂気持ち

	%
自分からすすんでしている	51.9
すすんでではないがしている	13.1
できていないがしたいと思っている	28.9
したいとは思わない	1.7
その他	1.5
欠損値	2.8

表7-1 母親・子どもと遊ぶ実際

	%	累積%
ほとんど毎日	60.4	60.4
週に3,4日	17.8	78.2
週に1,2日	17.0	95.2
ほとんどない	3.4	98.7
その他	0.4	99.0
欠損値	1.0	100

表7-2 母親・子どもと遊ぶ気持ち

	%
自分からすすんでしている	44.8
すすんでではないがしている	34.8
できていないがしたいと思っている	16.8
したいとは思わない	0.9
その他	0.6
欠損値	2.0

表7-3 父親・子どもと遊ぶ実際

	%	累積%
ほとんど毎日	17.1	17.2
週に3,4日	20.2	37.4
週に1,2日	56.6	94.0
ほとんどない	5.0	99.0
その他	0.6	99.6
欠損値	0.4	100

表7-4 父親・子どもと遊ぶ気持ち

	%
自分からすすんでしている	46.7
すすんでではないがしている	20.1
できていないがしたいと思っている	29.3
したいとは思わない	0.4
その他	0.7
欠損値	2.7

表 8-1 母親・スキンシップ実際

	%	累積%
ほとんど毎日	90.0	90.0
週に3,4日	5.6	95.6
週に1,2日	2.5	98.1
ほとんどない	0.8	98.8
その他	0	98.8
欠損値	1.2	100

表 8-2 母親・スキンシップ気持ち

	%
自分からすすんでしている	82.2
すすんでではないがしている	10.7
できていないがしたいと思っている	4.1
したいとは思わない	0.3
その他	0.2
欠損値	2.4

表 8-3 父親・スキンシップ実際

	%	累積%
ほとんど毎日	48.9	48.9
週に3,4日	20.6	69.5
週に1,2日	26.5	96.0
ほとんどない	2.7	98.7
その他	0.3	99.0
欠損値	1.0	100

表 8-4 父親・スキンシップ気持ち

	%
自分からすすんでしている	70.8
すすんでではないがしている	9.4
できていないがしたいと思っている	16.2
したいとは思わない	0.5
その他	0.4
欠損値	2.7

表 9-1 母親・オムツ換え実際

	%	累積%
ほとんど毎日	97.4	97.4
週に3,4日	0.2	97.6
週に1,2日	0	97.6
ほとんどない	0.3	98.0
その他	0.1	98.1
欠損値	1.9	100

表 9-2 母親・オムツ換え気持ち

	%
自分からすすんでしている	89.6
すすんでではないがしている	7.2
できていないがしたいと思っている	0
したいとは思わない	0.2
その他	0.2
欠損値	2.7

表 9-3 父親・オムツ換え実際

	%	累積%
ほとんど毎日	31.3	31.3
週に3,4日	27.4	58.7
週に1,2日	27.0	85.7
ほとんどない	12.6	98.3
その他	0.6	98.9
欠損値	1.1	100

表 9-4 父親・オムツ換え気持ち

	%
自分からすすんでしている	47.2
すすんでではないがしている	28.7
できていないがしたいと思っている	14.7
したいとは思わない	5.5
その他	1.0
欠損値	2.9

表 10-1 母親・寝かしつけ実際

	%	累積%
ほとんど毎日	85.4	85.4
週に3,4日	5.8	91.2
週に1,2日	2.2	93.4
ほとんどない	4.8	98.2
その他	0.6	98.8
欠損値	1.2	100.0

表 10-2 母親・寝かしつけ気持ち

	%
自分からすすんでしている	74.8
すすんでではないがしている	16.6
できていないがしたいと思っている	2.1
したいとは思わない	2.1
その他	2.2
欠損値	2.2

表 10-3 父親・寝かしつけ実際

	%	累積%
ほとんど毎日	14.2	14.2
週に3,4日	14.6	28.8
週に1,2日	34.1	62.8
ほとんどない	35.8	98.7
その他	0.9	99.6
欠損値	0.4	100.0

表 10-4 父親・寝かしつけ気持ち

	%
自分からすすんでしている	32.4
すすんでではないがしている	19.5
できていないがしたいと思っている	33.7
したいとは思わない	8.4
その他	3.4
欠損値	2.5

家事については、父親の28.2%がほとんど毎日していると答える一方で、ほとんどしない人はそれを上回る30.8%、週に1,2日の人を含めると、6割近くに上る。父親が母親と同等に家事を担う状況には、まだほど遠いことが明らかになった。夫婦で子育てについて話す機会は、母親の30.0%がほとんど毎日と答えた一方で、ほとんど毎日と答えた父親は19.2%にとどまる(週に1,2日が40.0%と最多)。夫婦で回答している場合が多いのにも関わらず、これだけ数字が開くということは、父親と母親の意識のズレを示していると考えられる。夫婦で子育てについて話すことに関して、母親の58.1%は「自分からすすんでしている」のに対し、父親で最も多い回答は「すすんでではないがしている」(37.8%)であり、子育てに関して夫婦間のコミュニケーションを求める母親と、それに十分応じていない父親という姿が浮かび上がる。子育てについて知人と話す機会も、母親は82.6%が週に1,2日以上あるとしているのに対し、父親の60.7%がほとんどないと答えている。

子どもと夕食をとる、お風呂に入る、あるいは子どもと一緒に遊ぶといったことは、父親の約半数が週に1,2日しかできておらず、できないがしたいと思っている人も3割前後いる。抱っこな

どのスキンシップについては、父親も7割が週に3,4日以上、自分からすすんでしていると答えており、子どもに関わりたいたいと思っているが、ある程度まとまった時間を要することについてはその時間がない、あるいは仕事のため時間帯が合わない等の状況が読み取れる。

3) 子育てに対する気持ち

毎日の子育てが楽しい、子育ては苦痛だ、子育てについて悩みがある、子育てが好きだ、子育ては面白い、「子育てをしている」と実感する、子どもの成長している姿をみるのが嬉しい、自分は子育てに向いていない、子育てを通して自分の世界や視野が広がった、子育てのために自分が犠牲になるのは仕方がない、子どもに愛情を感じている、もっと子どもと一緒にいる時間が欲しい、もっと自分のための時間が欲しい、長時間子どもだけを相手にして過ごすのは苦痛である、良い親であろうとして無理をしている、経済的な必要がなければ子どもが小さい間母親は仕事をせずに家にいた方がいい、仕事の事情が許せば子どもが小さい間父親は仕事を減らして在宅時間を長くした方がいい、子育てを通して自分も成長していきたい、の18項目について、非常にそう、まあまあそう、

表 11-1 母親・子育てが楽しい

	%	累積%
非常にそう	24.5	24.5
まあまあそう	66.0	90.6
あまりそうではない	8.3	98.9
ぜんぜんそうではない	0.6	99.5
欠損値	0.5	100.0

表 11-2 父親・子育てが楽しい

	%	累積%
非常にそう	32.1	32.1
まあまあそう	56.3	88.5
あまりそうではない	10.2	98.7
ぜんぜんそうではない	0.7	99.4
欠損値	0.6	100.0

表 12-1 母親・子育ては苦痛だ

	%	累積%
非常にそう	1.2	1.2
まあまあそう	24.9	26.1
あまりそうではない	50.3	76.3
ぜんぜんそうではない	22.1	98.4
欠損値	1.6	100.0

表 12-2 父親・子育ては苦痛だ

	%	累積%
非常にそう	1.0	1.0
まあまあそう	14.8	15.8
あまりそうではない	51.9	67.7
ぜんぜんそうではない	31.5	99.2
欠損値	0.8	100.0

表 13-1 母親・悩みがある

	%	累積%
非常にそう	6.7	6.7
まあまあそう	42.6	49.3
あまりそうではない	44.3	93.6
ぜんぜんそうではない	5.6	99.2
欠損値	0.8	100.0

表 13-2 父親・悩みがある

	%	累積%
非常にそう	5.4	5.4
まあまあそう	28.2	33.6
あまりそうではない	51.8	85.5
ぜんぜんそうではない	14.2	99.6
欠損値	0.4	100.0

表 14-1 母親・子育てが好き

	%	累積%
非常にそう	21.5	21.5
まあまあそう	63.6	85.2
あまりそうではない	13.3	98.5
ぜんぜんそうではない	1.1	99.6
欠損値	0.4	100.0

表 14-2 父親・子育てが好き

	%	累積%
非常にそう	27.7	27.7
まあまあそう	61.0	88.6
あまりそうではない	10.3	99.0
ぜんぜんそうではない	0.7	99.6
欠損値	0.4	100.0

表 15-1 母親・子育ては面白い

	%	累積%
非常にそう	36.8	36.8
まあまあそう	55.2	92.0
あまりそうではない	7.0	99.0
ぜんぜんそうではない	0.6	99.6
欠損値	0.4	100.0

表 15-2 父親・子育ては面白い

	%	累積%
非常にそう	35.3	35.3
まあまあそう	56.6	92.0
あまりそうではない	6.8	98.7
ぜんぜんそうではない	0.9	99.6
欠損値	0.4	100.0

表 16-1 母親・子育ての実感がある

	%	累積%
非常にそう	48.1	48.1
まあまあそう	41.6	89.7
あまりそうではない	9.4	99.1
ぜんぜんそうではない	0.4	99.6
欠損値	0.4	100.0

表 16-2 父親・子育ての実感がある

	%	累積%
非常にそう	25.7	25.7
まあまあそう	47.3	73.0
あまりそうではない	24.5	97.5
ぜんぜんそうではない	2.2	99.7
欠損値	0.3	100.0

表 17-1 母親・成長みるのが嬉しい

	%	累積%
非常にそう	91.5	91.5
まあまあそう	8.1	99.6
あまりそうではない	0.2	99.9
ぜんぜんそうではない	0	99.9
欠損値	0.1	100.0

表 17-2 父親・成長みるのが嬉しい

	%	累積%
非常にそう	85.2	85.2
まあまあそう	14.2	99.3
あまりそうではない	0.1	99.4
ぜんぜんそうではない	0.3	99.7
欠損値	0.3	100.0

表 18-1 母親・自分は向いていない

	%	累積%
非常にそう	6.3	6.3
まあまあそう	37.4	43.7
あまりそうではない	45.2	88.9
ぜんぜんそうではない	10.3	99.2
欠損値	0.8	100.0

表 18-2 父親・自分は向いていない

	%	累積%
非常にそう	3.9	3.9
まあまあそう	25.5	29.4
あまりそうではない	49.9	79.3
ぜんぜんそうではない	19.9	99.2
欠損値	0.8	100.0

表 19-1 母親・世界が広がった

	%	累積%
非常にそう	58.0	58.0
まあまあそう	34.2	92.2
あまりそうではない	7.1	99.3
ぜんぜんそうではない	0.4	99.8
欠損値	0.2	100.0

表 19-2 父親・世界が広がった

	%	累積%
非常にそう	39.8	39.8
まあまあそう	47.2	87.0
あまりそうではない	11.3	98.3
ぜんぜんそうではない	1.4	99.7
欠損値	0.3	100.0

表 20-1 母親・犠牲になるのは仕方ない

	%	累積%
非常にそう	29.5	29.5
まあまあそう	55.9	85.4
あまりそうではない	11.8	97.3
ぜんぜんそうではない	2.2	99.4
欠損値	0.6	100.0

表 20-2 父親・犠牲になるのは仕方ない

	%	累積%
非常にそう	29.3	29.3
まあまあそう	57.2	86.5
あまりそうではない	10.8	97.3
ぜんぜんそうではない	2.4	99.7
欠損値	0.3	100.0

表 21-1 母親・子どもに愛情を感じている

	%	累積%
非常にそう	82.0	82.0
まあまあそう	17.3	99.3
あまりそうではない	0.4	99.7
ぜんぜんそうではない	0	99.7
欠損値	0.3	100.0

表 21-2 父親・子どもに愛情を感じている

	%	累積%
非常にそう	79.1	79.1
まあまあそう	19.6	98.7
あまりそうではない	0.7	99.3
ぜんぜんそうではない	0.2	99.6
欠損値	0.4	100.0

表 22-1 母親・一緒に時間が欲しい

	%	累積%
非常にそう	24.9	24.9
まあまあそう	40.0	64.9
あまりそうではない	31.6	96.5
ぜんぜんそうではない	3.1	99.6
欠損値	0.4	100.0

表 22-2 父親・一緒に時間が欲しい

	%	累積%
非常にそう	49.8	49.8
まあまあそう	40.3	90.2
あまりそうではない	8.9	99.1
ぜんぜんそうではない	0.6	99.7
欠損値	0.3	100.0

表 23-1 母親・自分の時間が欲しい

	%	累積%
非常にそう	31.8	31.8
まあまあそう	52.2	84.0
あまりそうではない	14.3	98.3
ぜんぜんそうではない	1.4	99.7
欠損値	0.3	100.0

表 23-2 父親・自分の時間が欲しい

	%	累積%
非常にそう	20.9	20.9
まあまあそう	49.9	70.7
あまりそうではない	26.1	96.8
ぜんぜんそうではない	2.7	99.6
欠損値	0.4	100.0

表 24-1 母親・長時間子ども相手苦痛

	%	累積%
非常にそう	16.1	16.1
まあまあそう	42.2	58.4
あまりそうではない	33.2	91.6
ぜんぜんそうではない	8.0	99.6
欠損値	0.4	100.0

表 24-2 父親・長時間子ども相手苦痛

	%	累積%
非常にそう	4.5	4.5
まあまあそう	32.0	36.5
あまりそうではない	47.7	84.2
ぜんぜんそうではない	15.3	99.5
欠損値	0.5	100.0

表 25-1 母親・よい親であろうと無理

	%	累積%
非常にそう	3.2	3.2
まあまあそう	22.7	25.9
あまりそうではない	58.6	84.5
ぜんぜんそうではない	15.1	99.6
欠損値	0.4	100.0

表 25-2 父親・よい親であろうと無理

	%	累積%
非常にそう	1.9	1.9
まあまあそう	11.9	13.9
あまりそうではない	60.8	74.7
ぜんぜんそうではない	24.8	99.5
欠損値	0.5	100.0

表 26-1 母親・母親は在宅がよい

	%	累積%
非常にそう	26.2	26.2
まあまあそう	34.7	60.9
あまりそうではない	28.0	88.9
ぜんぜんそうではない	10.7	99.5
欠損値	0.5	100.0

表 26-2 父親・母親は在宅がよい

	%	累積%
非常にそう	31.4	31.4
まあまあそう	37.3	68.7
あまりそうではない	23.3	92.0
ぜんぜんそうではない	7.3	99.3
欠損値	0.7	100.0

表 27-1 母親・父親は在宅長く

	%	累積%
非常にそう	21.6	21.6
まあまあそう	41.6	63.3
あまりそうではない	27.9	91.1
ぜんぜんそうではない	8.2	99.4
欠損値	0.6	100.0

表 27-2 父親・父親は在宅長く

	%	累積%
非常にそう	26.3	26.3
まあまあそう	42.5	68.8
あまりそうではない	25.0	93.8
ぜんぜんそうではない	5.8	99.6
欠損値	0.4	100.0

表 28-1 母親・自分も成長したい

	%	累積%
非常にそう	74.6	74.6
まあまあそう	23.6	98.3
あまりそうではない	1.4	99.7
ぜんぜんそうではない	0.2	99.9
欠損値	0.1	100.0

表 28-2 父親・自分も成長したい

	%	累積%
非常にそう	55.4	55.4
まあまあそう	38.9	94.4
あまりそうではない	4.8	99.2
ぜんぜんそうではない	0.4	99.6
欠損値	0.4	100.0

あまりそうではない、ぜんぜんそうではない、の4件法で評定してもらった。結果を表11-1～表28-2に示す。

子育てが楽しいと感じている人は、「非常にそう」「まあまあそう」を含めると、母親、父親共に9割前後に上る。以下、どんな時に子育てを楽しいと感じるか、自由記述から抜粋する(原文ママ)。

子どもの笑顔が見られる

仕事の疲れを忘れさせてくれる。

子どもと会話したり笑い合ったりする事。

毎日さわがしくして大変だが、困っている時やつらい時にやさしく言葉をかけてくれたり笑顔を見せてくれるとしんどいことも忘れることができる。

日々成長していく姿がたのしく、幸せを感じ

る。

心が豊かになる、教えられる事がある

何があったか自分から話してくれた時

いろいろなことが出来るようになるのを見ること
ことができること

大人ではみつけられないであろう新しい発見があったりとても刺激があり楽しいです。

甘えたり、頼ったりしてくれるのが、嬉しい。

ママ～と求めてくるところ。

同じ様に子育てしていても個性があり楽しい。

子供に教わることも多い。

どうして楽しいかなんて考えた事もないがあえていうなら想像していた子供と違っていた事、発見やハプニングが楽しくてわかる 大変な事は沢山あるが、それは子供の生命と直結している事なのでそれは親の責任、あとは子供から幸せをもらっている

悩みや心配事はつきないが成長した姿を見るのは幸せ

食事を作り、「おいしい」や「ありがとう」を言われた時

毎日の子供の表情やしぐさを見ているだけでもいやされるし、子育てを通して学ぶ事もたくさんあり、何よりも毎日いろんなサプライズが起こるのでとても楽しいです。

子どもの自由な表現力でお話をしてくれる。自分で考えて作った工作をほこらし気に見せ、説明してくれる。

割合としてはさほど多くないものの、母親の26.2%、父親の15.8%が子育ては苦痛だと答えている。以下にどんな時に苦痛と感じるか、自由記述から抜粋する(原文ママ)。

あたり前の事ですが、自分の思うように行かない、1日の中でこれをしてあれをして…など自分なりの目標があるが、それが達成できない(子供がグズグズ言う、おもらし、イヤイヤなどで予定がくろうので。)

自分の都合どおりにはいかないことの連続だから。自分の都合にあわせると、結局、子どもに無理をさせたり怒っていやな気持ちにさせて、それもまたつらい。

自分の思う用に物事が進まないことへのイライラ…

時間に余裕がない。睡眠不足(夜泣き等)。自分の時間がない。子供の世話に疲れを感じる。

子どもはそれぞれ強く自己主張をするので、全て対応しなければならぬと考えると苦痛とを感じる。適当さが必要。

思うようにはいかない時。自分に余裕がない時。怒ってしまって自分がイヤになった時。友達どうし、どんな感じかな、とか不安に思った時。人と比べてしまっておちこんだ時。

思い通りに行動してくれない事で憂鬱になってしまう事が多い

昼夜関係なく、はしゃぎすぎる・注意しても、通じない

子供が優先の生活になり、自分の時間がもてない。

おこってばかりいる。

言うことをきかない。他人にめいわくをかける。約束を守らない。

子育ては楽しくもあり苦痛でもあると思う。慣れない事や初めての事、嫌手な事にも取り組まなければいけない場面が出てくるので、子どもをとっても愛らしく思える時もあれば嫌たらしく思える時もある。でも心底ではとても大切な存在なので、日々、自分の気持ちや感情をコントロールし、冷静に対応していきたいと思っているが上手くいかない時もあり日々反省している。

上の子と下の子がけんかばかりする。お互いにゆずり合わない

お金がない。→働く→つかれる→子どもとあそぶ気がない、家事におわれじかんもない。

1人でずっと元気な子を世話するのが、疲れるしあきてくる。子供とママとセットで気楽に一緒に遊べる友人がなかなかできない。

子育ての大変さを夫と共有出来ず、自分ひとりが育てているかのように感じる時。子どものしつけが出来ていないのを、夫から責められる時。

睡眠不足(常時) 体調不良になりやすい→サポートする人がいないので休息が取れない 病院にもなかなかいけな

子育てについて悩みがあるとする人は、母親では49.3%に上り、父親でも33.6%となっている。以下にどんな悩みがあるのか、自由記述から抜粋する(原文ママ)。

自分のしつけが将来どのような影響を与えることになるのかが少し心配。

兄弟が仲良くあそんでくれるにはどうすればいいのか?ごはんや性格など

食の好き嫌い

発達について 自分の子育てでまちがっていないか

言葉のわかる子とわからない子に対して、わかる子への対応がなやみ。

しかり方、おしえ方、言葉使い。

親にたたいたりかんだりする時どうしたらよいかかわからない 激しい夜泣きが続いている時発達障害がなにかあるんじゃないかと不安になる 上手に友だちづき合いができるか心配、 小学校に上がった時、不登校にならないか。

共働きのため、夫婦の間で十分に話しをする時間も取れず、また毎日が忙しく過ぎてしまい、子どもにとってこの状況が果たして本当に良いことなのかが分からない。

お金が無い！！

支援が必要な子がいるので、その子の将来に対しての不安や、今の支援に対しての不安。

障害があるかないかのグレーゾーンで、この先子どもの成長が心配。障害でない場合は、その子の性格なのか？育て方なのか？と自分をせめてしまう。

急な用事での預け先が確保出来ない。(子連れOKな施設が少ない)・園以外での友達との遊び場があまり無い。

怒ってしまった時や、悪いことをした時にどうやって対応してあげるのがベストだったのかな…と後で悩みます。

義両親の干渉。子離れができていない為に「(私達)親に甘えなさい」という言葉で常に夫や私達家族に関わり、思い通りにさそうとする(してくる)

草津での教育事情がわからず困っています。子供にこれからどんな教育環境で成長させていこうか悩んでいます。

子供と上手に遊んであげられない。(すぐに口を出してしまいイライラさせてしまう。)

上の子への接し方。相性が合わないのか、いつもどなって怒ってばかり。。話しかけられても、興味がないのか、関心が持てないのか、ちゃんと聞いてやれてない。すごく悩んでいる。

子育てをしていると実感するかどうかについては、母親では48.1%が「非常にそう」と答え、「まあまあそう」と合わせると9割に達するが、父親では「非常にそう」は25.7%にすぎず、26.

7%が「あまりそうではない」「ぜんぜんそうではない」と答えている。また、母親の43.7%の自分が自分は子育てに向いていないと答えている。

また、母親、父親共に約85%の人が子育てのために自分が犠牲になるのは仕方ないと答えている一方で、母親の84.0%、父親の70.7%はもっと自分の時間が欲しいとも感じている。子どもと一緒に過ごす時間については、父親の9割がもっと欲しいと答え、6割以上の父親は子どもだけと長時間過ごしても苦痛ではないと答えている。母親の約3分の1が、もっと子どもと過ごす時間が欲しいとは思っておらず、6割近くが子どもだけと長時間過ごすのは苦痛と答えているのとは対照的である。「経済的な必要がなければ、子どもが小さい間、母親は仕事をせずに家にいた方がいい」と「仕事の事情が許せば、子どもが小さい間、父親は仕事を減らして在宅時間を長くした方がいい」については共に、母親も父親も6割超の人が「非常にそう」または「まあまあそう」と答えている。

4) 親の役割についての意識

「理想的な父親」のイメージを自分なりに持っている、「理想的な母親」のイメージを自分なりに持っている、自分は理想的な父親または母親だと思う、子育てする上で父親と母親の役割に差はないと思う、子育てで「父親は母親にはかなわない」と思う、子育てにおいて父親はなくてはならない存在である、子育てにおいて母親はなくてはならない存在である、ほかの同性の親がどんな子育てをしているのか気になる、子育てにおいて父親にしかできない(母親にはできない)ことがある、子育てにおいて母親にしかできない(父親にはできない)ことがある、の10項目について、非常にそう、まあまあそう、あまりそうではない、ぜんぜんそうではない、あまりそうではない、「ぜんぜんそうではない」「ぜんぜんそうではない」と答えている。

表 29-1 母親・理想的な父親イメージあり

	%	累積%
非常にそう	9.2	9.2
まあまあそう	47.6	56.9
あまりそうではない	34.5	91.3
ぜんぜんそうではない	2.6	93.9
欠損値	6.1	100.0

表 29-2 父親・理想的な父親イメージあり

	%	累積%
非常にそう	8.7	8.7
まあまあそう	34.3	43.0
あまりそうではない	49.2	92.2
ぜんぜんそうではない	7.1	99.3
欠損値	0.7	100.0

表 30-1 母親・理想的な母親イメージあり

	%	累積%
非常にそう	11.0	11.0
まあまあそう	51.7	62.7
あまりそうではない	34.5	97.2
ぜんぜんそうではない	2.1	99.2
欠損値	0.8	100.0

表 30-2 父親・理想的な母親イメージあり

	%	累積%
非常にそう	4.8	4.8
まあまあそう	25.9	30.7
あまりそうではない	48.1	78.8
ぜんぜんそうではない	5.8	84.5
欠損値	15.5	100.0

表 31-1 母親・自分は理想的な親

	%	累積%
非常にそう	0.3	0.3
まあまあそう	22.9	23.4
あまりそうではない	61.5	84.9
ぜんぜんそうではない	14.3	99.1
欠損値	0.9	100.0

表 31-2 父親・自分は理想的な親

	%	累積%
非常にそう	1.7	1.7
まあまあそう	27.8	29.5
あまりそうではない	58.9	88.4
ぜんぜんそうではない	10.3	98.7
欠損値	1.3	100.0

表 32-1 母親・父母の役割に差はない

	%	累積%
非常にそう	10.9	10.9
まあまあそう	33.6	44.6
あまりそうではない	44.6	89.2
ぜんぜんそうではない	10.0	99.2
欠損値	0.8	100.0

表 32-2 父親・父母の役割に差はない

	%	累積%
非常にそう	6.9	6.9
まあまあそう	31.3	38.2
あまりそうではない	45.7	83.9
ぜんぜんそうではない	15.4	99.3
欠損値	0.7	100.0

表 33-1 母親・父は母にはかなわない

	%	累積%
非常にそう	14.1	14.1
まあまあそう	36.8	50.9
あまりそうではない	37.6	88.5
ぜんぜんそうではない	10.7	99.2
欠損値	0.8	100.0

表 33-2 父親・父は母にはかなわない

	%	累積%
非常にそう	40.5	40.5
まあまあそう	39.5	80.0
あまりそうではない	15.3	95.3
ぜんぜんそうではない	4.1	99.4
欠損値	0.6	100.0

表 34-1 母親・父はなくてはならない存在

	%	累積%
非常にそう	62.7	62.7
まあまあそう	31.1	93.8
あまりそうではない	4.6	98.5
ぜんぜんそうではない	1.2	99.6
欠損値	0.4	100.0

表 34-2 父親・父はなくてはならない存在

	%	累積%
非常にそう	42.4	42.4
まあまあそう	48.0	90.4
あまりそうではない	8.1	98.5
ぜんぜんそうではない	1.0	99.6
欠損値	0.4	100.0

表 35-1 母親・母はなくてはならない存在

	%	累積%
非常にそう	83.6	83.6
まあまあそう	14.8	98.4
あまりそうではない	1.2	99.6
ぜんぜんそうではない	0.1	99.7
欠損値	0.3	100.0

表 35-2 父親・父はなくてはならない存在

	%	累積%
非常にそう	84.3	84.3
まあまあそう	13.9	98.2
あまりそうではない	1.1	99.3
ぜんぜんそうではない	0.4	99.6
欠損値	0.4	100.0

表 36-1 母親・ほかの親が気になる

	%	累積%
非常にそう	19.9	19.9
まあまあそう	43.9	63.8
あまりそうではない	29.1	92.9
ぜんぜんそうではない	6.7	99.7
欠損値	0.3	100.0

表 36-2 父親・ほかの親が気になる

	%	累積%
非常にそう	11.7	11.7
まあまあそう	30.8	42.6
あまりそうではない	39.8	82.4
ぜんぜんそうではない	17.3	99.6
欠損値	0.4	100.0

表 37-1 母親・父にしかできないことがある

	%	累積%
非常にそう	37.4	37.4
まあまあそう	33.1	70.5
あまりそうではない	25.1	95.6
ぜんぜんそうではない	2.8	98.4
欠損値	1.6	100.0

表 37-2 父親・父にしかできないことがある

	%	累積%
非常にそう	27.7	27.7
まあまあそう	32.2	59.9
あまりそうではない	34.9	94.8
ぜんぜんそうではない	4.4	99.1
欠損値	0.9	100.0

表 38-1 母親・母にしかできないことがある

	%	累積%
非常にそう	42.1	42.1
まあまあそう	30.7	72.8
あまりそうではない	23.8	96.6
ぜんぜんそうではない	1.3	97.9
欠損値	2.1	100.0

表 38-2 父親・母にしかできないことがある

	%	累積%
非常にそう	45.1	45.1
まあまあそう	23.5	68.6
あまりそうではない	22.1	90.7
ぜんぜんそうではない	1.9	92.6
欠損値	7.4	100.0

ぜんそうではない、の4件法で評定してもらった。結果を表29-1～表38-2に示す。

「理想的な父親」のイメージを自分なりに持っているかどうかでは、母親の56.9%、父親の43.0%が肯定して(「非常にそう」または「まあまあそう」と答えて)いる。同じく「理想的な母親」のイメージを自分なりに持っているかどうかでは、母親の62.7%、父親の30.7%が肯定している。母

親の方が、理想の親イメージを持っている割合が高く、特にその差は父親イメージにおいて顕著であることが示された。父親自身はそれほど「理想の父」イメージが固定されていないのに対し、母親からは理想の父親像を期待されている部分があると言える。以下、自由記述から抜粋して示す(原文ママ)。

理想的な父親

一家の大黒柱。普段は優しいがいざという時に厳しくしかってくれる。

休日にすすんで子どもと関わる努力をする。

厳しいが優しくメリハリがある 子どもと休日是一緒に進んで遊びに行き、よくコミュニケーションをとっている

子どもと一緒に過ごす。

力強く優しい安心できる存在だが、決して甘やかさない 子に対して威厳をや保つことのできる父親・生きていく力を身につけることを教えることのできる父親

子供がピンチの時は助ける。話を聞いてくれる。普段はガミガミ怒らないが、本当に悪いことをした時に叱ってくれる父親。

「昭和」時代の威厳のある、一家の大黒柱的存在。父親の言う事は間違いないと皆が素直に思えるような信頼できる存在。

子育てにも一緒に参加してもらい、子供ともたくさんスキンシップをとってもらいたい。子どもから尊敬される父親であってほしい。

子供の話をよく聞いて子供の気持ちを理解し困っているときに頼りたくなる存在

6才の息子が言うことを聞かなくなってきているのでそういう時は父親から注意して、息子に分かってほしい

優しく、時には厳しく生きていく上で人としてのマナーを教える。

不動明王のごとく。

日頃は、子どもとあそんだり話したりして、やさしい面ももっているが、しつけや、ルールには、きちんと対処できる姿もみせてほしい。

やさしく、休日は子どもと1日過ごしてあげて欲しい。

子どもが大きくなった時、幼少期に父親と過ごした記憶が残るような父親。

背中を語るという意味で働らく姿や休日の過ごし方を子供に見せる

休日は子供と関わってくれる人。

思いきり一緒に楽しんで、でもきちんと言うべきことは言ってくれる。

メリハリのある父親 仕事、社会の厳しさも教えたい!

自分なりの人生の哲学を持っていて、それを子

どもに押しつけるのではなく、子どもなりの成長を見守ることができる。

ガキ大将的な父親

理想的な母親

おおらかで子供の気持ちによりそえる。

料理等の台所は、母親の場所・子供をしかった後の逃げ場

子供に深い愛情を注いでいる

いつもいつも手助けする存在ではなく、見守り、はげまし、うけとめ、その子その子の存在を大切にだきしめる存在である。

優しい声と話し方で子供に接している。料理家事全般が得意。

家庭的(そうじ、料理、裁報など)・子供の為に何でも笑顔で出来る 接する事が出来る

家事をサボらず、イライラを子どもにぶつけない母親

子供の側で、常によりそえる

ちゃんと晩ごはんを作り、一緒に食べる。子供と一緒に遊ぶ。いつも笑っている。仕事の悩みを子供にぶつけない。しかる時はちゃんとしかる、けど、長引かせない。

自分より全て子供優先

笑顔を決やさず、人として生きる力を育くめる。母性を感じてもらえる。優しい。

時に厳しく時に優しく スキンシップを大切に主人を立て家事はすべて母親が、仕事は父親が子育ては両親共に

細かく、うるさい存在 子供が小さいうちは子供へのスキンシップを多くして欲しい

感情的にならない おおらか

いつも心穏やかで怒ることなく、家事も完璧にこなし、家族皆の事を何よりも一番に考え、自分のことはいつもあとまわし。皆の笑顔は母のお陰…ご飯もお弁当も手抜きなし。

社交的で地域の人たちと仲が良い

いつも笑顔 子どもとじっくり関わる

料理、洗たく、そうじ等、毎日の家事をテキパキとこなして、子育ても楽しく、かつ厳しく、愛情をもって子供に接する。

子どもに対して愛情をそそぎ向かい合う

自分が理想的な母親または父親であるかとの問

いに対しては、母親の23.4%、父親の29.5%しか肯定的な回答をしていない。特に母親については、6割超の人が理想的な母親イメージを抱いているにも関わらず、自分がそのようにできていると思えている人は2割にとどまっていることになる。43.7%もの人が自分は子育てに向いていないと答えていること、63.8%が他の母親がどのような子育てをしているのか気になるとしていることを併せて考えると、自分の子育てに自信が持てないまま、否定的な感情を持ち続けている母親が多いことがうかがえる。

「父親と母親の役割に差がない」に対しては、父母共に6割前後が否定的な回答をしており、父親と母親の役割は違うと考えている人が多数派であった。さらに、父親は母親にかなわないと思うかどうかでは、母親の半数、父親の8割が肯定しており、特に父親には、母親の役割は自分には担えないものと感じられていることが明らかになった。「子育てにおいて父親にしかできないことがある」に対しては、母親の7割、父親の6割が肯定し、「子育てにおいて母親にしかできないことがある」に対しては父母共に約7割が肯定している。「父親にしかできないこと」「母親にしかできないこと」の内容をそれぞれ、自由記述から抜粋して示す(原文ママ)。

父親にしかできないこと

体を使った遊びが野外での遊びの相手・女性とは違う目線での、子供への接し方

母は毎日こまごまおこるので、父がたまにガツンと怒ると子供には響くようである

肩ぐるま、虫採り

してはいけないことをしたときには、母親より父親におこってもらい 母親が子供をしかったときは、父親は子供の味方になりよりそってほしい。母親が仕事をしているときは、子供のめんどうを見てもらう

大人のすごさを見せる時の内容によって

子供が男児なので、体力的な事や虫系の遊び。又、陰部など女性には扱いが分からない体の部分は父親が行うべき。

体を思いっきり使った遊び。・細かい事を注意しない、自由な遊び。

父親が感じてきたこと、今までの人生や経験で

考え方や社会についてなど、1人1人違うと思うので、子育てしていく中で少しずつ伝えていってほしい。

本当に困った時に話せる環境

力仕事などを見せている時

ダメな事はダメとはっきり教え理解させること。体力のいる遊び(肩車やひこうき等)

大きくつつむ、動揺しない たよりがいがある男ならではの話し

力仕事 叱ること

体をおもいきり使って遊ぶ。男性の性教育 母親のサポート、体力を使うような家事や子供の遊び

客観的な判断

大らかな子育て。母親は日々うるさく言ってしまうがちなので。体力的な事。

母親はよく叱るのでその時に子供を抱きしめてくれる(子供の逃げ場)・外遊び

理性的に考えて悟せる

男らしさの表現

男の子の遊び方や、物事の感じ方などを伝えたり教えたりすること。

思いきった遊びをさせる。

母親にしかできないこと

子供のことを常に細かいところまで見れるのは母親にしかできないと思う!子供を心の奥から愛せるのも母親にしかできないと思う!(お腹を痛めて産んだという意味でも)

乳児の頃の母乳。無条件のやさしさで接することができる。

家庭的な事、日常生活の過ごし方 身なり、服装に気をつけたりTPOをきっちり。

子どもがママを求めるとき

食育 健康面に気を配る 予防接種の計画など 子どもがグズるとパパじゃなくママにあまえる。

子どもの心のよりどころ 一番のつながり 母乳

おなかの中にいた時からどんなに大切にしていたか生まれてきたときなどの話を伝える

こまかな気持ちをさっしてあげられる。心の動きを男の人より気づける。

一番の理解者になること。

母性愛、女性的な優しさ

女の子の成長面では母親の体験談は大切

男親があやそうとする時でも、何かわからないが母親と子供には見えないつながりのような感じがあり子供をとて安心させている

おっぱいをあげて落ち着かせること。こればかりは男がどれだけ努力してもマネできない。ミルクはもちろんやれるけど、やっぱり母乳には、単に栄養の面だけでなく勝てないなあといつも思います。私は「母性」という言葉は少し懐疑的に思っているものの、こういうところは「父は母には勝てないかなあ」と率直に思います。

男性にはない繊細な部分があると思うので。

母親が愛情たっぷり育てていれば父親がいなくてもよいと思う。母親の愛で子供は大変左右されると思う

5) 子育て支援について

子育て支援に関する質問項目と、その結果を以下に示す。

- ① 子育てについての情報はどこから手に入れますか(複数可)

母：自分の母親 64.7% 配偶者の母親 31.1%
それ以外の家族・親族 21.9% 友人 80.4%
近隣の子育て経験者 36.9% 園の先生・医師・保健師などの専門家 63.6% 公的な冊子(例：母子手帳、保健所での配布物) 21.3% 専門家の書いた育児書 17.8%
出産・育児雑誌 23.3% 育児マンガ、小説家・漫画家等の書いた育児体験記、エッセイ等 12.5% インターネット上の子育て支援サイトやブログ 46.5%

父：自分の母親 42.2% 配偶者の母親 32.9%
それ以外の家族・親族 16.4% 友人 45.1%
近隣の子育て経験者 17.6% 園の先生・医師・保健師などの専門家 26.3% 公的な冊子(例：母子手帳、保健所での配布物) 13.1% 専門家の書いた育児書 10.8%
出産・育児雑誌 10.3% 育児マンガ、小説家・漫画家等の書いた育児体験記、エッセイ等 6.3% インターネット上の子育て支援サイトやブログ 31.6%

- ② あなたはどのような子育て支援を利用したことがありますか(複数可)

母：近隣の保育所・幼稚園等で行っている未就園児活動 48.6% 子育て支援センター「ほかほかタウン」 38.9% つどいの広場 27.5% 子育てサークル 29.4%
利用したことはない 20.6%

父：近隣の保育所・幼稚園等で行っている未就園児活動 26.5% 子育て支援センター「ほかほかタウン」 7.8% つどいの広場 3.5%
子育てサークル 5.6% 利用したことはない 57.1%

- ③ あなたは子育てについて相談をしたいと思ったことがありますか

母：はい 83.4%

父：はい 60.5%

- ④ 実際に相談をしたことがありますか(③で「はい」と答えた人の中のパーセンテージ)

母：はい 90.8%

父：はい 57.4%

- ⑤ 子育てについて相談したことがある相手(機関)(複数可)

母：配偶者 62.2% 自分の両親 58.2% 配偶者の両親 25.2% 自分、または配偶者のきょうだい 26.2%

子育てを通じて知り合った友人 46.4% それ以外の友人 32.2% 保育所・幼稚園・学校の先生 48.5% 保健センター 14.3% 病院 16.9% 役所 3.0%

子育て支援センター 14.5% 子育てサークル 4.8% 学習塾 1.9% 心理相談機関 2.4%

父：配偶者 15.9% 自分の両親 11.1% 配偶者の両親 6.9% 自分、または配偶者のきょうだい 4.4%

子育てを通じて知り合った友人 2.7% それ以外の友人 8.3% 保育所・幼稚園・学校の先生 5.5% 保健センター 1.7% 病院 2.9% 役所 0.8%

子育て支援センター 2.4% 子育てサークル

ル0.4% 学習塾0.2% 心理相談機関
0.3%

⑥ 実際には相談しなかった理由(④で「いいえ」と答えた人の中のパーセンテージ)

母：どこへ相談に行けばよいかわからなかった
30.3% 相談できる相手がいなかった
17.6% 相談することになんとなく抵抗があ
った41.8% 時間がなかった20.0%

父：どこへ相談に行けばよいかわからなかった
33.2% 相談できる相手がいなかった
12.7% 相談することになんとなく抵抗があ
った17.0% 時間がなかった28.4%

⑦ あなたはどのような子育て支援を利用した
いですか(複数可)

母：専門家による講座・講演会17.1% 専門家
による個別相談22.2% 親と専門家を交え
たグループでの話し合い13.0% 親同士グ
ループで話す場19.3%

親子で自由に遊べる場所の開放54.6% 親
子で参加するセミナー(料理教室、絵本の
読み聞かせなど)41.1% 子どもの一時預
かり29.6% 子どもだけで参加する集団活
動(キャンプ、自然体験など)43.5%

子育て支援を利用したいとは思わない
4.9%

父：専門家による講座・講演会12.0% 専門家
による個別相談14.7% 親と専門家を交え
たグループでの話し合い7.8% 親同士グ
ループで話す場9.8% 親子で自由に遊べ
る場所の開放53.0% 親子で参加するセミ
ナー(料理教室、絵本の読み聞かせなど)
26.3% 子どもの一時預かり14.2% 子
どもだけで参加する集団活動(キャンプ、自
然体験など)40.3% 子育て支援を利用し
たいとは思わない8.1%

子育てについての情報はどこから手に入れます
かという問いに対して母親は、友人が80.4%と最
も多く、ついで、自分の母親64.7%、園の先生・
医師・保健師などの専門家63.6%、インターネッ
ト上の子育て支援サイトやブログ46.5%となっ
ている。父親は、友人45.1%、自分の母親42.2%、

配偶者の母親32.9%、インターネット上の子育
て支援サイトやブログ31.6%となっている。専門
家から聞く機会は、母親の方がかなり多くなっ
ており、インターネットからの情報も活用されて
いるのが、最近の傾向と言えよう。

子育て支援を利用したことがない人は、母親の
20.6%、父親では57.1%に上る。父親につい
ては、平日は時間が取りにくいこともその理由の
1つであろう。しかし、子育てについて相談を
したいと思ったことのある父親の中で、実際
に相談したのは57.4%にとどまっており、その
理由として「どこに相談に行けばよいかわか
らなかった」が最も多く挙げられていること
から、父親へ子育て支援の情報が十分伝わ
っていないことも考えられる。また、母親が
相談に行かなかった理由として最も多く挙げ
ているのは「相談することになんとなく抵抗
があった」であり、母親が相談に行くこと
には心理的な抵抗もあることがうかがえた。
以下に子育て支援を利用しない理由を自由記
述から抜粋で示す(原文ママ)。

必要を感じないため

平日しかやっていない場合が多い フルタイム
で働いているので、時間がない。

センター(市町村)によっては有料だったりする。
交通費を考えると毎日行けなかったりもした。
あと1人でポツンと子どもと2人でお母さん
にも話しかけないでいるスタッフがいるセン
ターも行きたくない。ママグループに入りたく
ても入れないお母さんを支援できないセン
ターには行きたくない

すべては親の責任

他人と必要以上に接することが好きではない

子供は子供で自分で考え自分で育つ!

講演・セミナーを聞く時間がない

人は人だし、そもそも正しい子育て、という
か子育てに正解とかあるのか?専門家の意味
がわからない(病気等以外)、子育ては個々
の自由だと思う(子供のためを考えてい
れば)

子供どうしのケンカがあるのでイヤ たい
しよする親としない親がいるのでい
かない

子育ても十人十色だと思う。

生活するのにいっぱい2

初めての人と話をするのがきんちょうする。話

しはじめたらできるけど、そこまでいくのがむずかしい。利用はしたいと思うけど。

専門家さんなどがいらっしゃると構えてしまうため、友人などと話をしている方が良い

どこにどんな支援があるのかよくわからないから

忙しいので

聞きたいことの答えが明瞭に反映されないの。

離れた兄弟と一緒に遊べない(入ることが出来ない)つどいの広場等は、休日等は使いようがない。

男親目線、男が受け入れられるものがなかなかない

市役所から遠いとぼかぼかタウンもなかなか行きません。車がない人はどうしても外出しにくくなります。児童館のようなところがもう少しあればいいのになと思います。

以前、時間の都合がつかない時だけ、送迎してもらえる子育て支援のサービスを受けようと市に申請に行ったとき、窓口で頭ごなしに「タクシーがわりではありません！」と言われ、そんなつもりは全くないのに職員の態度が非協力的でこちらの心情を理解せず、申請時に私物のiPhoneで写真をとられ、サービスを利用するのが怖くなったため。

時間が無い。ベネッセなどの小冊子や、保育園からの手紙で、ある程度の情報はある。残りは突合せする時間にあてたい

とりあえず、子供を預かってもらえないと、子供と一緒にだと結局子供の事が気になって相談するにできないので、相談と預かりを一緒にしてほしいです。

講演会などで話している人たちの言葉はきれいな事だから

理由ではないが、利用する人は利用するが、利用しない人は利用しないので、支援センター的な(建て物)はいらぬ。支援を利用したいと思っている人は、決まっています、文句が多かったり、たよりすぎの人が多から。

ふだん、仕事をしているのもあり、休日(子どもといられる時間)に子どもを預けてまで参加するか、と言われると、しなないと思います。保育園、幼稚園の預り時間内で、仕事の都合がつけば…といったくらいです。なので、保育所では、参観日

と一緒に①講演会や④をしてくれるので参加しやすく、ありがたく思います。

他人の前での発言が苦手だから。他人の目線が気になる。私はあまり子供と遊ばないので、他の親子と一緒に遊べてるのが見えてイライラするから。

子供が1才の時、預けて10分程で、大きめのケガがあり(額から目を通してほっぺまでのケガ)、他人はあまり信用できない。ケガさせられる位なら、無理してでも自分で見ると思うようになり、保育所以外は預けない

色々な話を聞くと、その通りにしないといけなないと思、できないとイライラしたりしてしまうので、まちがっていても自分で経験して子育ても勉強していきたいから。

ムリにママ友を作らせようとする感じがイヤ。

一度利用したことはあるが、プライベートなことや、夫の職業などを聞きたがる人がいて、煩わしさを感じ、逆に参加することがストレスを感じることもあると思う。

普通の保育園での生活以上の内容が期待できない。そんな時間があれば、子供と相談して遊ぶ

もう母親達がグループが出来ていて入りにくいイメージ

何度か相談したが、事務的な答えしかなかったし、結局しょせん他人事で、相談しても無意味だと思ったから

体調が共に悪い時など制限があり、料金もかかる。おせっきょうされそう。

小さい子が対象であることが多いから。

自分の子とよその子のちがいを比べる場になる、ムリに参加する必要を感じない

赤ちゃんの時、産後ストレスなどで自分の気が立っている為あまり人と関わりたくなかった。相談したい事はあっても化粧をしていない、髪ボサボサな姿で人前に出たり体型の変化もあったので見られるのが嫌でした。

どのような子育て支援を利用したいかという問いに対しては、「親子で自由に遊べる場所の開放」が父母共に半数を超えている。ついで、「子どもだけで参加する集団活動」「親子で参加するセミナー」「子どもの一時預かり」「専門家による個別相談」の順になっている。

Ⅳ おわりに

今回の調査から、まず、母親の子育ての負担の大きさが明らかになった。子どもと過ごす時間をもっと短くしたい、子どもとだけ過ごす時間を苦痛と感じている母親が一定数いる。そして、父親は逆に、もっと子どもと過ごしたいと感じているにも関わらず、現実にはそれが難しいことも浮き彫りになった。父親の家事負担も十分には進んでおらず、母親と子育てについて話す時間も、母親が求めているほどには、父親が応じていない状況も示唆されている。

次に、子育てをしているときの気持ちについては、父母共に9割の人が楽しいと答えるなど、肯定的な気持ちで子育てに関われていることがうかがえる。しかし一方で8割超の母親は、子育てのために自分が犠牲になるのは仕方がないと思うと同時に、もっと自分の時間が欲しいと感じている。そして、半数近くの母親が「子育てについて悩みがある」とし、4割超の母親が「自分は子育てに向いていない」と感じていることも示された。

また、親の役割をめぐっては、母親自身が「理想の母親像」という「かくあるべし」によって自分自身を縛り、子育てに対して自信を持たずに苦しんでいることが推察できる。これは、父親の8割が「母親にはかなわない」と感じていることから示される、社会にいまだに根強く残る母性礼賛の傾向、「母性神話」と呼ばれてきたものが影響していると考えられる。核家族化が進み、個人主義的な傾向が強まる中で、子育てに関しても「自己責任」とする風潮は、その責任を押し付けられる形になる母親を孤独に追い込みかねない。こうした問題に関しては、単に子育て支援の枠組みのみならず、固定化した性別役割分業意識の変革など、男女共同参画の視点も含めて、長期的に取り組まれるべきことと考えられる。

さらに、子育て支援に対しては、「親子で自由に遊べる場所の開放」「子どもだけで参加する集団活動」「親子で参加するセミナー」「子どもの一時預かり」「専門家による個別相談」といったものが望まれていることが示された。遊び場や子どもを活動させてくれる(預かってくれる)場の設定により、保護者の負担を軽減すると共に、悩みを

持つ保護者の多さから考えると、子どもを預けられる、土日にも開かれている等、より利用しやすい相談窓口の拡充が求められていると考えられる。

今回は、こうした調査、しかも10ページにも及ぶ質問紙への回答としては、回収率が高く、非常に貴重なデータを収集できたと言えると同時に、保護者の方々の関心の高さも示している。この貴重なデータを、さらに詳細に分析し、今後の子育て支援策に生かしたいと考えている。

文 献

- 甲南大学人間科学研究所(2011). 第2回子育て環境と子どもに対する意識調査-父親版-報告書
濱田智崇(2005). 相談の現場から見たジェンダーの「今」 甲南大学人間科学研究所紀要「心の危機と臨床の知」第6号
新道賢一・濱田智崇・川口彰範(2013). 父親の子育て意識の可能性を探る「[第二回] 就学前の子どもを持つ父親へのインタビュー調査」から 甲南大学人間科学研究所紀要「心の危機と臨床の知」第14号